

CIRCULAR
ECONOMY

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



【八幡平から】未来の環境を守る旅の提供に向けて

脱プラスチックセミナー ～本質を学んで、地域の売りにしよう～

Richard Carey / Adobe Stock

開催日時 10/1 (火) 16:30～18:00 @八幡平市役所大ホール

講師：

一般社団法人サーキュラーエコノミー・ジャパン
中石 和良 氏



一般社団法人CIRCULAR ECONOMY JAPAN (CEJ) 代表理事、一般社団法人日本バイオホテル協会 代表理事、株式会社バイオロジックフィロソフィ 代表取締役。2013年オーストリア本部の「バイオホテル協会」との公式提携を受け日本バイオホテル協会設立。2019年にCEJを設立し、環境省や大手企業などにサステナビリティビジネスの立上げ支援を行っている。

当日のスケジュール (予定)

16:30～16:40 主催者挨拶

16:40～17:30 講演 (演題仮)

「脱プラスチックの世界潮流と日本の現状」

17:30～18:00 個別相談会

最近ニュースでよく聞く“脱プラスチック”

「東京の話で、こっちは関係ない。」「そのうち、役所から指導されてから対応すればいい。」と思いがち

本当にそうでしょうか？

大型台風が千葉県に深刻な被害をもたらしましたが、深刻な異常気象が世界を襲う中で、消費の仕方、旅の仕方を環境の観点で選ぶ人が増えています。

日本最古かつ最新の地熱発電所、そして四季折々の美しい自然環境を有する八幡平にとって「環境対応」は大きな武器になります。待ちの姿勢ではなく、積極的な対応を利益につなげていくことが求められます。

今回のセミナーでは、多くの企業で環境対応をビジネスに変え、環境保全と事業利益の両立を指導する中石氏を招き、世界と日本の潮流と具体的な対応策についてお話を伺います。宿泊施設や観光事業者の皆様必聴です。地域で議論を始めるきっかけになれば幸いです。

申込方法	所属	氏名	電話番号	メールアドレス
右欄を記載の上、FAXまたはEmailにてご連絡下さい。ご不明な点は、担当まで。				
個別相談を () 希望する () 希望しない どちらかに○をつけて下さい				
送信先：事務局 (株)岩手県北観光 FAX (019-641-8844)				
担当：宮城 (080-5743-3020) mail (k-miyagi@iwate-kenpokubus.co.jp)				

主催：岩手県環境生活部環境生活企画室 協力：八幡平市商工観光課・八幡平DMO

岩手県では、国立公園をはじめとする豊かな自然や、地熱発電所等の環境保全関連施設を多く有し、持続可能な地域としてのポテンシャルが高い八幡平地域に着目し、学びを通して八幡平地域の魅力を発信するため、昨年度複数のコンテンツとSDGsを組み合わせる取組を実施しました。

今年度は、実際にそれらのコンテンツを活用したツアーを実施することなどにより、八幡平地域のコンテンツの利活用を図ることとしていますが、そのためには地元の皆様にSDGs等について理解を深めていただく場が必要と考え、このようなセミナーを開催させていただくことといたしました。

SDGs、持続可能な観光、環境と経済の両立、脱プラスチック、こうしたキーワードに関心のある方の多くのご参加をお待ちしております。

参考資料

最近たまに見かけるこのマーク、この言葉。
『SDGs（エスディー・ジー・ズ）』って、なあに？



SDGsとは「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)のことであり、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において示されました。17のゴール(目標)が設定されており、そのゴールの下にはさらに169のターゲットが設定されています。2017年には経団連の企業行動憲章にもその達成が位置付けられ、多くの企業が達成に向けた取組を進め始めています。

ヨーロッパには、世界で唯一の厳しいBIO基準を規約とする「ビオホテル協会」があります。志の高いホテルや生産団体が集まり、有機認証団体のサポートを受けて2001年に発足しました。BIOは、オーガニックのことを意味します。

ビオホテルでは、食事や飲み物、コスメ(シャンプー・石けん・スキンケア等)は、すべてBIO(オーガニック)。タオル、ベットリネン類、さらには、施設の建材や内装材も可能な限り自然素材を使用し、再生可能エネルギーの積極的な活用を含め、CO2排出量削減にも厳格に取り組んでいます。

ビオホテル協会の厳しい基準を満たして認定を受けたホテルは、ドイツ、オーストリア、イタリア、スイス、フランス、スペイン、ギリシャの7か国、約100軒(2016年12月現在)。美味しい100%BIO(オーガニック)の食事とレベルの高い環境マネジメントにより、最も信頼できるエコホテルとして急激に市場での存在感を高めています。

(BIO HOTEL JAPAN ホームページより抜粋)

世界で話題の「ビオホテル」
って知っていますか？

